

# WSD-F10/ WSD-F20/ WSD-F20S/ WSD-F20X/ WSD-F20SC/ WSD-F20A

## 取扱説明書

---

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、「クイックスタートガイド」（製品に添付）に記載されている「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

# 目次

---

はじめに .....	JA-2
本機の特長 .....	JA-3
計測機能について .....	JA-5
パッケージ内容と各部の名称 .....	JA-6
この取扱説明書について .....	JA-7
準備 .....	JA-8
知っておきたい基本操作 .....	JA-13
アウトドア機能の利用 – カシオ製のウォッチフェイスとアプリを使う .....	JA-17
カシオ製ウォッチフェイスを使う .....	JA-18
ロケーションメモリーアプリを使う (WSD-F20 シリーズのみ) .....	JA-20
ツールアプリを使う .....	JA-26
アクティビティアプリを使う .....	JA-36
MOMENT SETTER アプリを使う .....	JA-43
タイムピースアプリを使う .....	JA-47
アウトドア機能の共通設定について .....	JA-48
モノクロ表示について .....	JA-61
困ったときには .....	JA-63
ご注意 .....	JA-65
使用上のご注意 .....	JA-65
お手入れについて .....	JA-73
充電式電池の取り扱いについて (電池リサイクルのお願い) .....	JA-75
個人情報の保護に関するご注意 .....	JA-75
無線に関するご注意 .....	JA-76
バンドの駒詰めについて (WSD-F20SC のみ) .....	JA-77
主な仕様 .....	JA-78
補足情報 .....	JA-84

# はじめに

---

## WSD-F10 をご利用のお客様へのご注意

- この取扱説明書は、WSD-F10 を Wear OS by Google™ にアップデートした後の操作を記載しています。Wear OS by Google へのアップデートに関する情報は、下記ウェブサイトを参照してください。  
<https://support.google.com/wearos/>
- この取扱説明書に記載のある次の機能は、WSD-F10 には搭載されていません。
  - 内蔵 GPS
  - アクティビティアプリの一部機能 (パドル、スノー)
  - アクティビティアプリの履歴&エクスポート機能
  - 一部のウォッチフェイス (ロケーション、トラベラー)
  - ロケーションメモリアプリ
- WSD-F10 はスマートフォンから位置情報を取得します。必ずペア設定したスマートフォンと接続した状態でご使用ください。

## iPhone をご利用のお客様へのご注意

- iPhone とペア設定して本機をご使用の場合は、必ず iPhone の Wear OS by Google アプリを起動したままにしてください。Wear OS by Google アプリが終了した状態では、iPhone との通信を必要とする機能が動作しなくなります。
- iPhone とペア設定して本機をご使用の場合には、一部制約があります。詳しくは、下記ウェブサイトを参照してください。  
<http://support.casio.com/wsd/>

## 本機の特長

### Wear OS by Google 搭載

Google、Android、Wear OS by Google、Google Play、およびその他のマークやロゴは Google LLC の商標です。

Wear OS by Google は、Android™ 4.4 以上 (Go エディションを除く) または iOS 10 以上\*1 が稼働しているスマートフォンで動作します。利用できる機能は、プラットフォームや国によって異なります。

※1 Android 4.3 以上のスマートフォンまたは iOS 9 以上の iPhone と WSD-F10/F20/F20S/F20X をペア設定してご使用のお客様は、そのままご使用いただけます。ただし、Android 4.4 以上 (Go エディションを除く) のスマートフォンまたは iOS 10 以上の iPhone とペア設定してのご使用をおすすめします。

### 5 気圧防水 + MIL-STD\*2 準拠

音声認識用のマイクを内蔵しながら 5 気圧防水を実現しました。水泳や釣りなども、本機を着用したまま楽しむことができます。また MIL-STD-810G 準拠の耐環境性能により、さまざまなアウトドア・アクティビティ (登山、サイクルスポーツ、フィッシングなど) で使用できます。

※2 米国防総省が制定した米軍の物資調達規格

### GPS 内蔵 (WSD-F20 シリーズのみ)

本機は GPS\*3 を内蔵しており、スマートフォンとの連携なしで位置情報の取得が可能です。現在地の地図表示\*4、各種アクティビティの計測や記録などが、本機単独で実行できます。

※3 本機の測位システムは GPS (米国) だけでなく GLONASS (ロシア) および QZSS (日本) にも対応しています。本書中では、本機が対応しているすべての測位システムを代表して、「GPS」という表現を使用しています。

※4 スマートフォンがないときに地図を表示するためには、あらかじめ地図のダウンロードをしておくことが必要です。

### 二層構造の液晶による表現力と視認性

カシオ製アプリでは、カラー液晶とモノクロ液晶の二層を使い分け可能です。モノクロ液晶は太陽光下の視認性が高いので、アウトドアでの使用時に便利です。

### 3つのサイドボタンで確実な操作

アウトドアでも確実な操作ができる3つのボタンを装備しています。**TOOL ボタン**と**APP ボタン**には、アプリの自由な割り当てが可能です。

### 「CASIO MOMENT SETTER+」でリモート設定

CASIO MOMENT SETTER+アプリ (Android スマートフォン専用、Google Play™ から入手可能) を使うことで、スマートフォン操作による本機のカスタマイズ (MOMENT SETTER 機能による通知設定やツールアプリ設定など) が可能です。

### カメラとの連動

対応カメラを本機から操作することができます。詳しくは、下記ウェブサイトを参照してください。

<http://support.casio.com/wsd/>

## 計測機能について

本機には気圧、高度、方位などを計測し、表示することが可能なウォッチフェイスやアプリが搭載されています。ただし、本機は専門的な計測器ではありません。本機の各種計測機能は、目安としてお使いください。

### コンパス (方位計測)

本格的な登山など、正確な方位の確認が必須となるような場面では、信頼性の高い予備の方位磁針をご用意のうえ、本機のコンパス機能と併用してください。

#### ✔ 重要

- 次のような場所では、正しい計測や補正ができません。
  - 永久磁石 (磁気アクセサリなど)、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品 (テレビ、パソコン、携帯電話など) の近くのような強い磁力がある場所
  - 電車、船、飛行機などの乗り物の中
  - 室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内

### 高度計、気圧計

本機の高度計は、圧力センサーで計測した気圧を高度に換算した値を表示します (相対高度計)。このため同じ場所で計測しても、時間の経過により気温、湿度、気圧などが変化すると、高度計の値も変化します。また、標高とは異なる値を表示することがあります。登山などでご使用いただく際は、実際にご使用いただく場所の高度 (標高) に、こまめに補正しながら計測されることをおすすめします。

### タイドグラフ (潮汐情報のグラフ表示)

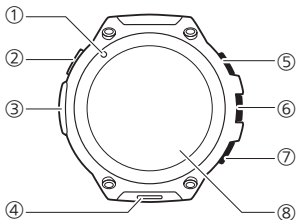
本機のタイドグラフは、あくまで潮の満ち引きの目安を表示するものであり、航海のための潮汐情報としては利用できません。航海には必ず、海上保安庁刊行の潮汐表を使用してください。

## パッケージ内容と各部の名称

### パッケージ内容

本体、ACアダプター、充電ケーブル、クイックスタートガイド(保証書付き)、  
クロスバンド/バンド交換工具(WSD-F20Xのみ)

### 各部の名称



① 充電 LED

② 充電端子

③ 圧力センサー

④ マイク

⑤ TOOL ボタン

⑥ 電源ボタン

⑦ APP ボタン

⑧ タッチスクリーン

## この取扱説明書について

- この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- この取扱説明書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万が一不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- この取扱説明書および本製品の使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するデータの消失による、損害および逸失利益などにつきまして、当社では一切その責任を負えません。
- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、実際の製品と異なる場合があります。



# 準備

「クイックスタートガイド」に記載の安全上のご注意をお読みの上、「本機の使用を開始するための準備」と「アウトドア機能を利用するための準備」のすべての操作を行ってください。

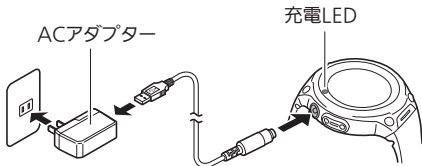
## 本機の使用を開始するための準備

本機を使用するために必須の準備です。最初に操作してください。

### 1. 充電する

付属の AC アダプターをコンセントに接続し、付属の充電ケーブルを AC アダプターと本機の充電端子に接続します。

- 充電 LED は充電中に赤、フル充電で緑に点灯します。
- 一定以上充電されると、自動的に電源が入ります。



### ✓ 重要

- 本機の電池をより長くお使いいただくために、長期間ご使用にならない場合でも、1 か月に 1 度程度の定期的な充電をおすすめします。

### 2. スマートフォンに Wear OS by Google アプリをインストールする

Android スマートフォンの場合は Google Play、iPhone の場合は App Store から Wear OS by Google アプリをダウンロードし、インストールしてください。

### 3. スマートフォンとペア設定する

ペア設定時は、スマートフォンを本機の 1m 以内に置くことを推奨します。スマートフォンの Wear OS by Google アプリを起動し、画面に表示される指示に従ってペア設定してください。詳しい操作については、下記のウェブサイトを参照してください。

Wear OS by Google ヘルプ

<https://support.google.com/wearos/>

カシオウェブサイト

<http://support.casio.com/wsd/>

### 4. CASIO MOMENT SETTER+アプリをインストールする (Android のみ)

Android スマートフォンをお使いのお客様は、「CASIO MOMENT SETTER+」アプリを Google Play からダウンロードし、インストールすることをおすすめします。このアプリを使うと、スマートフォンからの操作で、本機のツールアプリや MOMENT SETTER アプリの設定が可能です。

#### ✓ 重要

- CASIO MOMENT SETTER+アプリには 2 種類のバージョンがあります。必ず新バージョンのアプリをインストールしてください。バージョンの新旧は、Google Play 上に表示されるアプリのアイコンでご確認ください。



旧バージョンのアイコン



新バージョンのアイコン

- 本機の機能を 100%ご利用いただくために、ご使用前に必ず、カシオ製アプリを最新バージョンにアップデートしてください。アップデートの手順は、下記ウェブサイトを参照してください。

<http://support.casio.com/wsd/>

## アウトドア機能を利用するための準備

本機のアウトドア機能(カシオ製ウォッチフェイスやアプリの機能)を最大限に活用するために、必要な準備です。「本機の使用を開始するための準備」に引き続き、下記の操作を行ってください。

### 1. 本機で Play ストアが利用できるように設定する

1. 本機と iPhone を接続して使用している場合は、iPhone を Wi-Fi に接続する。
2. ウォッチフェイスの表示中に電源ボタンを短く押し、アプリメニューを表示する。
3. タッチスクリーンを上下にスクロールして、「Play ストア」をタップする。
  - Play ストアの利用が可能となります。使ってみたいアプリをインストールしてください。


### 2. カシオ製アプリを最新の状態にアップデートする

1. アプリメニューから「Play ストア」をタップする。
2. 「スマートウォッチ上のアプリ」を選んで、本機にインストール済みのアプリ一覧を表示する。
  - 上記の操作ができない場合は、タッチスクリーンを上端から下にスワイプして Play ストアのメニューを表示し、「マイアプリ」アイコンをタップします。
3. 「アップデートあり」の下に、アップデートできるアプリが表示されます。CASIO MOMENT SETTER+のアップデートがある場合は、必ずアップデートしてください。


### 3. 本機とスマートフォンの位置情報を設定する

位置情報は、WSD-F20 シリーズでは本機またはスマートフォンから、WSD-F10 ではスマートフォンから取得されます。

#### 本機の操作(WSD-F20 シリーズの場合)

1. ウォッチフェイスの表示中にタッチスクリーンを上端から下にスワイプし、 をタップする。
2. 下にスクロールして「接続」、「位置情報」の順にタップする。
3. 表示される画面で「位置情報」をオンにする。

## 本機の操作(WSD-F10の場合)


1. ウォッチフェイスの表示中にタッチスクリーンを上端から下にスワイプし、 をタップする。
2. 下にスクロールして「接続」をタップする。
3. 下にスクロールして「位置情報」を表示し、オンにする。

## スマートフォンの操作

「設定」→「位置情報」をオンにした上で「高精度」モードを選択します。ご使用のスマートフォンに「高精度」の設定がない場合は、GPS、Wi-Fi、モバイルネットワーク（データ通信）の各設定を「ON」にしてください。

以下は、カシオ製ウォッチフェイス、ロケーションメモリアプリ、ツールアプリ、アクティビティアプリ、MOMENT SETTER アプリの全機能を利用可能にするために必要な設定です。

### 4. CASIO MOMENT SETTER+の「権限」を有効にする

1. ウォッチフェイスの表示中にタッチスクリーンを上端から下にスワイプし、 をタップする。
2. 下にスクロールして「アプリと通知」、「アプリの権限」、「システムアプリ」、「CASIO MOMENT SETTER+」の順にタップする。
3. 表示される項目（「カレンダー」、「マイク」、「位置情報」など）をそれぞれタップして、すべての項目をオンにする。

### 5. 「毎日の活動記録を保存」を「ON」にする

1. ウォッチフェイス（オーセンティック、フィールド、マルチ）の表示中にタッチスクリーンを約2秒間長押しして、設定メニューを表示する。
2. 設定メニューを下にスクロールし、「毎日の活動記録を保存」が「OFF」になっているのを確認してからタップする。
  - 活動記録の保存に関するダイアログが表示されます。表示内容をよくお読みください。
3. 「承認」をタップする。
  - 「毎日の活動記録を保存」が「ON」に切り替わります。

## 6. 「毎日の位置情報を保存」を「ON」にする (WSD-F20 シリーズのみ)

1. ウォッチフェイス(ロケーションまたはトラベラー)の表示中に、タッチスクリーンを約2秒間長押しして、設定メニューを表示する。
2. 設定メニューを下にスクロールし、「毎日の位置情報を保存」が「OFF」になっているのを確認してからタップする。
  - 位置情報の保存に関するダイアログが表示されます。表示内容をよくお読みください。
3. 「6分ごと」または「1分ごと」をタップする。
  - 「毎日の位置情報を保存」が「ON」に切り替わります。
  - 「1分ごと」に設定した場合は電池消費が多くなりますので、ご注意ください。

# 知っておきたい基本操作

## ✔ 重要

- 本機と接続するスマートフォンの OS の種類やバージョン、本機の OS のアップデート等によって、ここでの説明とは操作が異なる場合があります。Wear OS by Google の操作に関するより詳細な情報は、下記のウェブサイトを参照してください。  
<https://support.google.com/wearos/>

## 各ボタンのはたらき

電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"><li>● 画面が暗いときに押すと、画面が復帰する。</li><li>● ウォッチフェイスの表示中に押すと、アプリメニュー（アプリを起動するためのアプリ一覧）が現れる。</li><li>● 本機の電源がオフのときは、約 2 秒間長押しすると電源がオンになる。</li></ul>
TOOL ボタン (右上)	<ul style="list-style-type: none"><li>● ウォッチフェイスの表示中に押すと、あらかじめ設定しておいたアプリ（初期設定ではツール）が起動する。</li><li>● ツールの表示中に押すたびに、ツールの別の機能に切り替わる。</li></ul>
APP ボタン (右下)	ウォッチフェイスの表示中に押すと、あらかじめ設定しておいたアプリ*1 が起動する。

※1 WSD-F20 シリーズの初期設定ではロケーションメモリーが割り当てられています。WSD-F10 の初期設定では、アプリは何も割り当てられていません。



## 参考

- TOOL ボタンや APP ボタンを押したときに起動するアプリを変更する操作については、下記ウェブサイトを参照してください。  
<https://support.google.com/wearos/>

## 暗くなった画面を復帰する

本機を操作していないときは、画面が暗くなります。復帰する(明るい画面に戻す)には、タッチスクリーンをタップするか、電源ボタンを押します。

## 電源の操作

これをするには	この操作を行う
充電する	[本機の使用を開始するための準備]の手順 1 を参照。
電源をオフにする	1. ウォッチフェイスの表示中にタッチスクリーンを上端から下にスワイプし、  をタップする。 2. 下にスクロールして「システム」、「電源 OFF」の順にタップし、確認画面で  をタップする。
電源をオンにする	電源ボタンを約 2 秒間長押しする。または、本機の充電を行う(充電量が一定レベルに達した時点で自動的に電源がオンになる)。

## ウォッチフェイスの操作

これをするには	この操作を行う
ウォッチフェイスを切り替える	1. ウォッチフェイスの表示中に、タッチスクリーンを左右どちらかの方向に少しスワイプする。 お気に入りウォッチフェイスの一覧が現れる。 2. お気に入りウォッチフェイスの一覧を左右にスクロールして、使用したいものをタップする。
ウォッチフェイスをお気に入りに追加する	1. お気に入りウォッチフェイスの一覧を、右端までスクロールすると現れる「他のウォッチフェイスを追加」をタップする。 全ウォッチフェイスの一覧が現れる。 2. 全ウォッチフェイスの一覧を上下にスクロールして、お気に入りに追加したいものをタップする。
ウォッチフェイスをお気に入りから外す	お気に入りウォッチフェイスの一覧で、お気に入りから外したいものを下から上にスワイプする。

## お気に入りウォッチフェイスについて

本機には多数のウォッチフェイスが搭載されているので、よく使うウォッチフェイスを上記「ウォッチフェイスをお気に入りに追加する」の操作で登録してください。登録したウォッチフェイスだけがお気に入りウォッチフェイスの一覧に現れるので、切り替えを手早く行うことができます。

### 参考

- ウォッチフェイスの各種操作について詳しくは、下記のウェブサイトを参照してください。  
<https://support.google.com/wearos/>
- カシオ製のウォッチフェイスについては、「カシオ製ウォッチフェイスを使う」を参照してください。

## アプリの利用

これをするには	この操作を行う
アプリを起動する	<ol style="list-style-type: none"><li>1. ウォッチフェイスの表示中に電源ボタンを短く押して、アプリメニューを表示する。</li><li>2. タッチスクリーンを上下にスクロールして、起動したいアプリを表示し、タップする。</li></ol>
ウォッチフェイスに戻る	電源ボタンを押す。

## 各アプリの使い方について

- ツール、アクティビティ、MOMENT SETTER、ロケーションメモリー (WSD-F20 シリーズのみ)、タイムピースの各アプリについては、「アウトドア機能の利用 – カシオ製のウォッチフェイスとアプリを使う」を参照してください。
- EXILIM Controller および G'z EYE Controller については、下記のウェブサイト参照してください。  
<http://support.casio.com/wsd/>
- Google™ 製のアプリ (Wear OS by Google 標準搭載アプリ) については、下記のウェブサイト参照してください。  
<https://support.google.com/wearos/>
- その他サードパーティー製のアプリについては、開発元のウェブサイトや説明書などを参照してください。



## Wear OS by Google の機能について

本機が OS として採用している Wear OS by Google は、OS の機能として次のようなことができます。

- 音声入力
- 各種メッセージの送受信や電話の着信通知
- タイマー、予定リスト、翻訳など、Wear OS by Google 標準搭載アプリの利用
- Play ストアアプリ<sup>\*</sup>を使ったウォッチフェイスやアプリの追加
- Wear OS by Google の設定

※ Play ストアアプリは本機に内蔵されているため、本機だけで(スマートフォンを使わなくても)ウォッチフェイスやアプリの追加が可能です。

詳しくは、下記のウェブサイトを参照してください。

<https://support.google.com/wearos/>

## スマートフォンと未接続時にできないこと

本機はスマートフォンと未接続のときでも多数の機能を利用できますが、音声入力や、スマートフォンとの連携を前提としたアプリ、サービスなど、一部利用できなくなる機能もあります。詳しくは、下記のウェブサイトを参照してください。

<https://support.google.com/wearos/>

<http://support.casio.com/wsd/>

## アウトドア機能の利用 – カシオ製のウォッチフェイスとアプリを使う

アウトドアで役立つ、カシオ製ウォッチフェイスの表示の見かたや、次のカシオ製アプリの使い方を説明します。

アプリ	できること
ロケーションメモリー (WSD-F20 シリーズのみ)	カラー地図で現在地を確認する
ツール	自然環境を調べる
アクティビティ	活動の状況を知る、計測する
MOMENT SETTER	適切なタイミングを察知する
タイムピース	機能を時計表示に限定して節電する

### ✔ 重要

- 本機のアウトドア機能を最大限に活用するために、必ず「[アウトドア機能を利用するための準備](#)」の操作を行ってください。
- ロケーションメモリー (WSD-F20 シリーズのみ)、アクティビティ、ツールの各アプリが表示する速度や移動距離は、本機またはスマートフォンのGPS機能を使用して測定しているため、GPSの受信状態や位置の検出誤差により、実際の値と差が出る場合があります。

## カシオ製ウォッチフェイスを使う

本機には次のカシオ製ウォッチフェイスが搭載されています。ウォッチフェイスの名前は、お気に入りウォッチフェイスの一覧や、全ウォッチフェイスの一覧に表示されます（「ウォッチフェイスの操作」を参照）。

ジャーニー※1	現在地の地図を表示するアナログ時計です。Google カレンダー™に登録した予定が、最大3件まで表示されます。また予定の1件をタップすると、その行き先の地図が表示されます。
プレイス※1	ウォッチフェイスの設定で Google カレンダーの予定を指定しておくこと、その場所がアナログ時計表示の背景地図上に表示されます。指定がない場合は、現在地が表示されます。
ロケーション※1	内蔵 GPS による現在地の緯度・経度と、背景に現在地を中心とする世界地図を表示するアナログ時計です。
トラベラー※1	旅先などで役に立つ情報を表示するアナログ時計です。10 時位置のダイヤルをタップするたびに、文字板下部のインフォウィンドウへの表示情報が切り替わります。
2 レイヤー	視認性のよいモノクロ液晶と、カラー表現できる液晶を使い分けるデジタル時計です。
オーセンティック	シンプルなアナログ時計です。固定表示の 24 時間計メーターに加え、タップして表示内容を変更できる 2 つのメーターを備えています。
世界時計	現在地の日付時刻と都市名（タイムゾーン名）、現在地とホーム都市の時差、ホーム都市の日付時刻と都市名（タイムゾーン名）を表示するデジタル時計です。
高度	本機で記録した最高高度、現在の高度、過去 24 時間の高度変化グラフを表示するデジタル時計です。
フィールド	カジュアルなアナログ時計です。タップして表示内容を変更できる 2 つのメーターを備えています。
マルチ	カジュアルなデジタル時計です。タップして表示内容を変更できる 3 つのメーターを備えています。
コンビ	過去 24 時間分の高度変化グラフ、現在の気圧と高度、本機で記録した最高高度を表示するアナログ時計です。

※1 WSD-F20 シリーズのみ

## ✔ 重要

- 電池残量が5%未満の場合、どのウォッチフェイスを表示しているかに関わらず、本機を操作せずに画面が暗くなったときには、強制的にモノクロ液晶の時計表示に切り替わります。タッチスクリーンをタップすると、元のウォッチフェイス表示に戻ります。

### 「磁化補正を行ってください」と表示されたときは

文字板にコンパスを表示可能なウォッチフェイスの使用時に「磁化補正を行ってください」という通知が表示されることがあります。

コンパスを正確に動作させるためには、この通知をタップすると現れる ⚙️ をタップし、表示されるアニメーションを参考に、本機をいろいろな向きに動かしてください。

### 高度や気圧などの数値が実際と違うと感じたときは

表示データの補正操作が必要です。「アウトドア機能の共通設定について」をお読みの上、下記の操作を行ってください。

これを補正するには	ここを参照
気圧計	「気圧補正」
高度計	「高度補正」、「高度をロケーションで補正」※1
コンパス	「コンパス磁化補正」、「コンパスの磁気偏角を補正」

※1 WSD-F10 と iPhone を接続して使用している場合、この設定項目は利用できません。

### カシオ製ウォッチフェイスの設定を変更したいときは

「アウトドア機能の共通設定について」を参照してください。

## ロケーションメモリーアプリを使う (WSD-F20 シリーズのみ)







ロケーションメモリーアプリは、地図とリンクした記録を手早く残すためのアプリです。次のようなことができます。

- 地図を表示して現在地を確認します。
- 市街地図、地形図、衛星写真など、地図の見た目をさまざまなスキンから選べます。
- アプリを起動している間の移動ルートを、地図上に表示します。
- 現在地に声でメモ (音声認識によるテキスト) を残すことができます。
- より手早くメモしたいときや、ネットワーク通信ができないときは、マークでメモを残すこともできます。
- 「また来たい」マークを使ってメモを記録すると、再びその地点の近くに来たときに通知を受け取ったり、その地点へのナビを表示したりできます。



## ロケーションメモリーの基本操作

ロケーションメモリーアプリは、主な操作を本機の TOOL ボタンと APP ボタンで行うことができます。各ボタンを押すとできることが、画面上(ボタンの左)にアイコンで表示されます。アイコンをタップしても、同じ操作ができます。

アイコン	ボタンを押すかアイコンをタップするとできる操作
	ボタンの機能を地図の拡大・縮小に切り替える
	ボタンの機能をメモ種類の選択に切り替える
	地図を拡大する
	地図を縮小する
	マークでメモを記録する
	声でメモを記録する

### 「また来たい」マークについて

「また来たい」マークを使ってメモを記録すると、再びその地点の近く(初期設定では 5km 以内)に来たときに通知が受け取れます。通知距離の変更や、通知が来ないように変更したい場合の設定操作については、「[「また来たい」マークの通知設定を変更する](#)」を参照してください。

#### ✔ 重要

- 「また来たい」マークによる通知を受け取るには、CASIO MOMENT SETTER+アプリのインストールされた Android スマートフォンと本機が通信可能な状態であることが必要です。
- 本機を iPhone と接続して使用している場合、「また来たい」マークによる通知を受け取ることはできません。
- 「また来たい」マークは、最大 50 件まで記録できます。50 件を超えて記録しようとする、古いものから順に自動的に削除されます。

## その他の操作

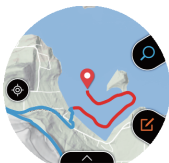
- 記録したメモを見るには、地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプすると表示されるメニューで「履歴表示」をタップします。
- 地図上に移動ルートを表示する操作については、「[移動ルートが地図上に表示されるように設定する\(ルート表示\)](#)」を参照してください。
- 地図の表示設定については、「[アウトドア機能の共通設定について](#)」および下記を参照してください。
  - 地図を Google マップ™ と Mapbox の間で切り替える: [地図の種類](#)
  - 地図表示を地形図や航空写真に変更する: [地図のスキン](#)
  - Mapbox の地図をダウンロードする: [地図のダウンロード](#)

## ロケーションメモリーアプリの設定

ロケーションメモリーアプリに特有の設定(「ルート表示」と「また来たい」)について説明します。その他の設定項目については、「[アウトドア機能の共通設定について](#)」を参照してください。

### 移動ルートが地図上に表示されるように設定する(ルート表示)

ロケーションアプリを起動している間の移動ルートを、地図上に表示できます。



通常の移動ルートは青のライン、アクティビティアプリを使った計測中に移動したルートは赤のラインで表示されます。

移動ルートを表示するには、下記の操作で設定メニューの「ルート表示」を「OFF」(初期設定)から「ON」に切り替えます。

1. 地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「設定」をタップする。
2. 設定メニューを下にスクロールし、「ルート表示」が「OFF」になっているのを確認してからタップして「ON」に切り替える。

 **重要**

- 本機は一定間隔で位置情報(GPS)を取得することで、移動ルートを表示します。通常は電池の消費を抑えるため、位置情報の取得頻度が低くなっています。このため、車や電車などで移動した際の移動ルートは、滑らかには表示されません。また、非常に高速な乗り物での移動時は位置情報の取得ができず、移動ルートが正しく表示されない場合があります。
- 移動ルートを滑らかに表示させたい場合は、アクティビティアプリを使った計測を実施してください。計測中は位置情報の取得頻度が上がるため、移動ルートの表示がより滑らかになります。
- 本機は移動ルートやマーク、メモなどを、内蔵ストレージに記録します。ストレージ容量が許す限り記録可能ですが、ストレージの残量が少なくなると、古いものから順に自動的に削除されます。



## 「また来たい」マークの通知設定を変更する

「また来たい」マークを記録すると、再びその地点の近くに来たときに通知を受け取ることができます。本機の初期状態では、次の条件を満たしたときに通知されます。

- 「また来たい」マークがある地点の<<5km 圏内>>に近づいたとき
- 「また来たい」マークがある地点の上記圏内に最後に近づいてから、<<1 日以上>>が経過しているとき

上記の<< >>内の設定が変更できます。また、通知を受け取らないようにすることもできます。設定を変更するには、次の操作を行います。

1. 地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「設定」をタップする。
2. 設定メニューを下にスクロールし、「また来たい」をタップする。
3. 表示される画面で必要な設定を行う。
  - 通知を受け取る条件を変更するには、次の操作を行う。
    1. 「通知」が「OFF」になっている場合は、タップして「ON」にする。
    2. 「範囲」をタップし、表示される選択肢から指定したい距離をタップする。
    3. 「通知の抑制」をタップし、表示される選択肢から指定したい期間をタップする。
  - 通知を受け取らないようにするには、「通知」をタップして「OFF」に切り替える。

## 移動したルートをスマートフォンでも見たいときは

下記操作を実行すると、本機に記録された移動ルートを、スマートフォンの Google Earth™ などを使ってご覧いただけます。スマートフォンには、あらかじめ「Google ドライブ™」と「Google Earth」の各アプリをインストールしておいてください。

1. 地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「設定」をタップする。
2. 設定メニューを下にスクロールし、「エクスポート」、「KML で出力」の順にタップする。
  - 初回はアカウントの選択画面が現れます。KML ファイルは Google ドライブに保存されますので、お客様の Google アカウントを選択してください。
3. 出力したい移動ルートデータの日付を選択する。
  - エクスポートが開始されます。完了するまでは、何も操作せずにお待ちください。
  - 出力した KML ファイルは、お客様の Google ドライブの「CASIO-WSD」というフォルダに保存されます。

## ツールアプリを使う

ツールは本機周辺の自然環境のさまざまな情報を表示するアプリです。

### ツール機能一覧

コンパス	方位磁針を表示します。
高度計	現在地の高度を数値とメーター針で表示する「① 高度メーター画面」と、過去 24 時間分の高度変化をグラフ表示する「② 高度グラフ画面」を備えています。
気圧計	現在地の気圧を数値とメーター針で表示する「① 気圧メーター画面」と、過去 24 時間分の気圧変化をグラフ表示する「② 気圧グラフ画面」を備えています。
日の出日の入り	現在地の日の出、日の入り時刻を詳しく表示する「① 時刻画面」と、日の出、日の入りの時刻と方位を表示する「② 方位画面」を備えています。
タイドグラフ	あらかじめ登録したポイント(港)の潮汐グラフを表示する「① タイドグラフ画面」と、現在地付近の海や河川で魚が釣れやすい時刻の目安を表示する「② フィッシングタイム画面」を備えています。
活動グラフ	今日の「静止」、「歩く」、「走る」、「乗り物での移動」それぞれの活動時間をグラフィック表示します。

### ツールの基本操作

これをするには	この操作を行う
ツールの機能を切り替える	<ul style="list-style-type: none"><li>● ツールの起動中に、TOOL ボタンを押す。</li><li>● ツールの起動中に、タッチスクリーンを上から下、または下から上にスワイプする。</li></ul>
「ツール機能一覧」の①と②の間で画面を切り替える	①から②の画面に切り替えるには、タッチスクリーンを右から左にスワイプする。②から①に切り替えるには、左から右にスワイプする。
ツールに関連した設定を変更する	「アウトドア機能の共通設定について」を参照。

## カラー表示とモノクロ表示について

ツールの画面をカラー表示とモノクロ表示の間で切り替えることが可能です。屋外の強い太陽光などでカラー表示が見づらいときは、モノクロ表示に切り替えると視認性が向上します。

これをするには	この操作を行う
カラー表示からモノクロ表示に切り替える	TOOL ボタンを約 3 秒間長押しする。
モノクロ表示からカラー表示に切り替える	TOOL ボタンを約 3 秒間長押しするか、タッチスクリーンをタップする。

### 参考

- ツールの起動中に約 1 分間何も操作しなかった場合、ツールは自動的に終了します。
- ツールの機能「活動グラフ」は、本機の初期設定では表示されません。表示するための操作については、「[活動グラフを使う](#)」を参照してください。

## コンパスを使う

赤い矢印が真北<sup>※1</sup>の方角を指します。



画面中央の数字は、北を 0°として時計回りに、本機 12 時方向までが何度かを表します。例えば本機 12 時方向が真東の場合、90°と表示されます。またアルファベットは、本機 12 時方向の方角を 16 方位で表示します。

※1 初期設定時。磁北の方角を指すように変更したい場合は、「[コンパスの磁気偏角を補正](#)」を参照してください。

### 方角をロックするには

トレッキング中などで、ある特定の方角に進みたいようなとき、コンパスでその方角をロックすることができます。本機の 12 時方向をロックしたい方角に向け、タッチスクリーンをタップしてください。本機の 12 時方向がロックした方角からずれると、そのずれが青いラインとして表示されます。

ロックを解除するには、再度タッチスクリーンをタップします。

### コンパスの磁化補正について

「磁化補正を行ってください」というメッセージが表示された場合は、メッセージとともに表示されるアニメーションを参考に、本機をいろいろな向きに動かしてください。補正が完了すると、メッセージは消えます。

#### 参考

- 通常、磁化補正は自動的に行われます。メッセージが表示されたときだけ、上記の要領で操作してください。

## 高度計を使う

高度計には、カラー表示 2 種類(左から高度メーター画面、高度グラフ画面)およびモノクロ表示があります。



- どの画面にも現在高度が表示されます。
- 高度グラフ画面には、過去 24 時間の高度変化グラフと、その間の最低高度 (Min) および最高高度 (Max) が表示されます。
- モノクロ表示の上部は、過去 23 時間の高度変化グラフです。
- 本機の高度計の計測範囲は-700~10,000m、計測単位は 1m です。

## 高度計を使う前に

- 本機の高度計は、位置情報(GPS)を使って自動で高度補正を行うことが可能です(WSD-F10 と iPhone を接続して使用している場合を除く)。この機能を使うには、次の設定が必要です。
  - 本機およびスマートフォンの「位置情報」を正しく設定する。  
「アウトドア機能を利用するための準備」の手順 1 を参照してください。
  - 本機の「高度をロケーションで補正」を「ON」にする。  
「アウトドア機能の共通設定について」をお読みの上、「高度をロケーションで補正」の操作を行ってください。
- 本機は気圧の変化量に基づく相対高度を表示しているため、同じ場所においても周囲の環境変化によって表示する値が変化したり、実際とは異なることがあります。「高度をロケーションで補正」は GPS 情報を用いて高度を補正しますが、GPS 情報が原理的に誤差を含んでいるため、本機が表示する高度と実際の標高の誤差が大きくなる場合があります。登山中などに、より高い精度で表示したい場合は、現在地の正確な標高を手動で入力する補正操作を、こまめに実施することをおすすめします。「アウトドア機能の共通設定について」をお読みの上、「高度補正」の操作を行ってください。
- 高度を計測するときは、できるだけ本機自体の温度を一定に保ってください。計測前に本機をしばらく腕につけたままにすると温度が安定するため、より正確な計測ができます。圧力センサーは温度変化の影響を受けると、多少の誤差が出ることがあります。

## 高度計に関するご注意

- スカイダイビング、ハンググライダー、パラグライダーをしているとき、またはジャイロコプターやグライダーに搭乗中のときのように、短時間で高度が変化する場合は、使用しないでください。
- 本機で計測した高度を専門的または産業レベルで利用しないでください。
- 航空機内では、機内の気圧で高度を計測するため、機内でアナウンスされる高度と一致しません。
- 気象条件により大気圧に変化が生じたときや、気温の変化が大きいとき、時計が強い衝撃を受けたときは、正しい計測ができない場合があります。

## 本機が表示する高度について(相対高度)

高度の表し方には以下の2つがあります。

相対高度:

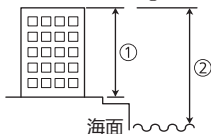
2つの場所の高さの差を表します。

例: 地面から測ったビル屋上までの高さ(①)

海拔高度(標高):

海面からの高度を表します。

例: 海面から測ったビル屋上までの高さ(②)



本機の高度計は、圧力センサーで計測した気圧を高度に換算した値を表示します(相対高度計)。本機が表示する相対高度は、国際民間航空機関(ICAO)が定めている国際標準大気(ISA)の定義に基づいています。

## 気圧計を使う

気圧計には、カラー表示 2 種類(左から気圧メーター画面、気圧グラフ画面)およびモノクロ表示があります。



- どの画面にも現在気圧が表示されます。
- 気圧グラフ画面には、過去 24 時間の気圧変化グラフと、その間の最低気圧 (Min) および最高気圧 (Max) が表示されます。
- モノクロ表示の上部は、過去 23 時間の気圧変化グラフです。
- 本機の気圧計の計測範囲は 260~1,100hPa、計測単位は 1hPa です。

### 気圧計測値の手動補正について

本機が内蔵している圧力センサーは工場出荷時に調整されているため、通常は補正する必要はありませんが、計測値に大きなずれが発生した場合には手動での補正が可能です。「アウトドア機能の共通設定について」をお読みの上、「気圧補正」の操作を行ってください。

### 気圧計に関するご注意

- 本機が表示する気圧や気圧グラフは、天候を予測する際の目安として使用できます。あくまで目安ですので、公式の天気予報や報道活動のための使用は避けてください。
- 圧力センサーは、急激な温度の変化に影響を受ける場合があります。その結果、計測した数値に多少の誤差が出ることがあります。



## 日の出日の入りを使う

日の出日の入りには、カラー表示 2 種類(左から時刻画面、方位画面)およびモノクロ表示があります。



- 時刻画面に表示される時刻は、日の出時刻(左上)、日の出前の航海薄明開始時刻(左下)、日の入り時刻(右上)、日の入り後の航海薄明終了時刻(右下)、現在時刻(中央下)です。
- 方位画面には現在時刻、日の出時刻、日の入り時刻が表示されます。また文字板の周縁部がコンパスになっており、赤い矢印が北を、☀️が日の出の方角を、🌄が日の入りの方角をそれぞれ指します。
- モノクロ表示は、日の出時刻(RISE)と日の入り時刻(SET)を 10 秒おきに切り替えて表示します。

## 航海薄明について

薄明とは、日の出前や日の入り後、太陽が水平線や地平線の下にあるときでも、空がうっすらと明るい時間帯のことです。薄明には「航海薄明」、「市民薄明」、「天文薄明」の 3 つの種類があります。航海薄明は、太陽高度が水平線/地平線下およそ 6~12 度の間にある時間帯を指します。

## タイドグラフを使う

タイドグラフには、カラー表示 2 種類(左からタイドグラフ画面、フィッシングタイム画面)およびモノクロ表示があります。



- タイドグラフ画面は、現在の潮位と時刻(中央の赤字)、現在時刻から 12 時間後までに発生する満潮の潮位と時刻(High)、干潮の潮位と時刻(Low)を表示します。グラフは現在時刻の前後 12 時間(計 24 時間)の潮位変化を模式的に表しています。
- フィッシングタイム画面は、今現在の魚の釣れやすさ予想を、白い魚マークの数で表示します。0~4 匹の間で表示され、数が多いほど釣果を期待できます(ただし、釣果を保証するものではありません)。
- モノクロ表示は、満潮時刻(HIGH)と干潮時刻(LOW)を 10 秒おきに切り替えて表示します。

## タイドグラフを使う前に

- タイドグラフ画面を使うためには、潮汐情報を見たいポイント(港)を指定することが必要です。「アウトドア機能の共通設定について」をお読みの上、「港を設定」の操作を行ってください。
- 本機はフィッシングタイム画面への表示情報を、現在地を基準に計算します。ポイント(港)指定には影響されません。このためフィッシングタイム画面は、海だけでなく川や湖でも利用することが可能です。
- タイドグラフ画面はポイント(港)、フィッシングタイム画面は現在地を計算の基準としている点にご留意ください。

## 活動グラフを使う

活動グラフは、今日これまでの自分の活動状況を表示します。




- どちらの画面にも、今日午前 0 時から現在までの、自分の消費カロリーが表示されます (初期設定時)。
- カラー表示には、今日のいつ頃に自分がどのタイプの活動をしていたかが、同心円グラフで表示されます。活動のタイプ別積算時間が画面下部に表示されます (🚗 乗り物での移動、🛑 静止、🚶 歩く、🏃 走る)。
- カラー表示中にタッチスクリーンをタップすると、現在時刻と活動の積算時間表示を消すことができます。再表示するには、もう一度タップします。

## 活動グラフを使う前に

活動グラフは本機の初期設定では表示されません。表示するには、「毎日の活動記録を保存」を「ON」に切り替えることが必要です。また、消費カロリーをより正確に表示するためには、身長、体重、時計を装着する腕の設定が必要です。「アウトドア機能の共通設定について」をお読みの上、「毎日の活動記録を保存」、「身長」、「体重」、「時計を装着する腕」の設定を行ってください。

## 活動グラフの画面中央に表示する数値の種類を変更するには

1. タッチスクリーンを右から左にスワイプすると表示される「設定」画面で、をタップする。設定メニューが表示される。
2. 設定メニューを上下にスクロールして、「中央の数値／活動グラフ」をタップする。数値の種類一覧が表示される。
3. 一覧を上下にスクロールして、活動グラフ画面の中央に表示したい数値の種類をタップする。

### 重要

- 本機が表示する消費カロリーや歩数などの数値は、表示を行うアプリによって測定方法や計算方法などが異なるため、ある程度のばらつきが生じます。例えば活動グラフが表示する消費カロリーは、他のアプリが表示する消費カロリーとは必ずしも一致しません。
- 活動グラフが表示する活動タイプ別のグラフや活動時間は、本機のセンサーによって検出された動作に基づいています。このため、表示される内容が実際の活動状況とは異なる場合があります。

## アクティビティアプリを使う

アクティビティアプリは、下記アウトドア・アクティビティの開始から終了までを計測し、結果を地図上の移動経路やデータ一覧（活動時間、移動距離など）で表示するアプリです。

Trekking	(トレッキング)	Paddle <sup>※1</sup>	(パドル)
Fishing	(フィッシング)	Snow <sup>※1</sup>	(スノー)
Cycling <sup>※2</sup>	(サイクリング)		

※1 WSD-F20 シリーズのみ

※2 WSD-F10 では、Android スマートフォンとの接続時のみ利用可能です。

## アクティビティアプリの画面について

### 計測開始前の画面

「START」(または「BEGIN」)というボタンの下に、アクティビティの種類が表示されています。タッチスクリーンを左右にスワイプして、アクティビティの種類を選ぶことができます。



- タッチスクリーンを下端から上にスワイプすると表示されるメニューを使って、次の操作が可能です。

メニュー項目	できること
地図のダウンロード※3	<p>ネットワーク通信ができない場所に行って地図を利用したい場合に、事前にネットワーク通信が可能な場所で地図をダウンロードしておくことができます。</p> <p>本項目をタップしたら、「<a href="#">地図のダウンロード</a>」の手順 2 以降を実行してください。</p> <p>この操作で地図をダウンロードすると、「<a href="#">地図の種類</a>」が自動的に「Mapbox」に切り替わります。</p>
履歴&エクスポート →アクティビティ履歴※3	<p>アクティビティの履歴一覧(アクティビティが終了した日付時刻の一覧)を表示します。一覧から 1 つをタップすると、該当履歴の計測結果画面や地図画面を表示することができます。</p>
履歴&エクスポート →履歴の自動保存※3	<p>「履歴の自動保存」を有効にすると、アクティビティアプリによる記録を終了するたびに次のことが実行されるので、履歴をスマートフォンで表示することが可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アクティビティのタイプや実施日時のデータを Google カレンダーに自動登録</li> <li>● 移動ルート of データ (KML ファイル) を Google ドライブに自動保存</li> </ul> <p>KML ファイルは、お客様の Google ドライブの「CASIO-WSD」というフォルダーに保存されます。</p> <p>操作については、「<a href="#">履歴の自動保存を有効にするには (WSD-F20 シリーズのみ)</a>」を参照してください。</p>

メニュー項目	できること
履歴&エクスポート →スマートフォンで履歴 を見る (Android のみ) ※3	スマートフォンでカレンダー (Google カレンダーアプリまたはその他の対応アプリ) を表示します。カレンダーに登録されているデータをタップして、Google Earth などのアプリを使って移動ルートを地図上で見ることができます。 操作については、「スマートフォンで履歴を見るには (WSD-F20 シリーズのみ)」を参照してください。
ゴール標高	トレッキングのゴール標高を設定します。
MOMENT SETTER	アクティビティ中に役立つ情報をタイミングよく受け取るための、MOMENT SETTER 通知機能の設定ができます。詳しくは、「MOMENT SETTER アプリを使う」を参照してください。

### ※3 WSD-F20 シリーズのみ

- 「START」(または「BEGIN」) をタップするとアクティビティの計測が開始され、計測中画面に切り替わります。

## 計測中の画面

計測中にタッチスクリーンを左右にスワイプすると、計測データを表示する画面や地図画面※4、「STOP」画面などの間で切り替わります。表示される画面は、アクティビティの種類によって異なります。

- ※4 WSD-F10 と iPhone を接続して使用している場合、地図画面は表示されません。

## アクティビティアプリの基本操作

これをするには	この操作を行う
計測を開始する(スノー※5以外)	計測したいアクティビティの種類を選び、「START」をタップする。
スノー※5の計測を開始する(「オート記録」が「ON」のとき)	計測したいアクティビティの種類を選び、「BEGIN」をタップする。 • スノーの滑走開始を本機が検出すると、自動的に計測が開始される。
スノー※5の計測を開始する(「オート記録」が「OFF」のとき)	1. 計測したいアクティビティの種類を選び、「BEGIN」をタップする。 2. 計測を開始するには、APP ボタンを押す。
計測を終了する※6	計測中のアクティビティが完了したら、「STOP」(または「END」)をタップする。
フィッシングの計測中に釣果を入力する	フィッシングの計測中に釣果画面を表示してAPP ボタンを押すか、👉をタップする。

※5 WSD-F20 シリーズのみ

※6 アクティビティアプリは、計測開始から 20 時間が経過すると自動的に終了します。

### 👍 重要

- アクティビティアプリでの計測中にモノクロ液晶の時刻表示に切り替わると、計測中の値は表示されませんのでご注意ください。計測中の値を見るには、タッチスクリーンをタップしてカラー液晶表示に切り替えることが必要です。
- アクティビティアプリの使用時は、「常に画面を ON」をオンにすることをおすすめします。「常に画面を ON」は Wear OS by Google の設定項目のひとつです。詳しくは下記ウェブサイトを参照してください。  
<https://support.google.com/wearos/>



## 履歴の自動保存を有効にするには (WSD-F20 シリーズのみ)

1. アクティビティの「START」画面(または「BEGIN」画面)を表示する。
2. タッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「履歴&エクスポート」、「履歴の自動保存」の順にタップする。
3. 表示されるアカウントの選択画面で、ご使用の Google アカウントを選択する。
4. 確認メッセージが表示されるので、「有効にする」をタップする。
  - ここで、Google カレンダーや Google ドライブへのアクセス許可を促すメッセージが表示されることがあります。この場合は、下にスクロールしてメッセージをお読みになり、 をタップしてください。
  - 「履歴の自動保存」が「ON」に切り替わったのをご確認ください。
  - 「ON」に切り替わると、以降はアクティビティアプリによる記録を終了するたびに、自動的に履歴がアップロードされるようになります。

## スマートフォンで履歴を見るには (WSD-F20 シリーズのみ)

### ✔重要

- スマートフォンには、あらかじめ「Google カレンダー」、「Google ドライブ」、「Google Earth」の各アプリをインストールしておいてください。

1. スマートフォンで **Google カレンダー** を起動する。
2. **Google カレンダー** 上で、内容を見たい履歴データをタップし、詳細画面を表示する。
  - 詳細画面には、Google ドライブに保存されている KML ファイルへのリンクがあります。
3. **Google Earth** を使って KML ファイルを開く。

Android スマートフォンの場合：

1. KML ファイルへのリンクをタップする。
2. アプリの選択画面が表示されたら、Google Earth をタップする。
  - Google Earth が起動し、地図上に移動ルートが表示されます。

iPhone の場合：

1. KML ファイルへのリンクをタップする。
  - 「サポートされていないファイル形式です」というメッセージが表示されます。
2. 画面右上の「...」をタップし、表示される画面で「アプリで開く」をタップする。
3. 表示されるダイアログで「Google Earth」をタップする。
  - Google Earth が起動し、地図上に移動ルートが表示されます。

## 参考

- 本機を Android スマートフォンとペア設定している場合は、本機のメニュー操作で、スマートフォンの Google カレンダーを起動することもできます。
- 1. アクティビティの「START」画面(または「BEGIN」画面)を表示する。
- 2. タッチスクリーンを下端から上にスワイプし、表示されるメニューで「履歴&エクスポート」、「スマートフォンで履歴を見る」の順にタップする。

## 計測中に表示される各種のデータについて

アクティビティ計測中に表示される各種のデータについては、次の点にご注意ください。

- アクティビティアプリが表示する気圧や高度をより正確な数値に補正する操作については、「アウトドア機能の共通設定について」をお読みの上、「気圧補正」、「高度補正」、「高度をロケーションで補正」の各項目を参照してください。
- WSD-F10 と iPhone を接続して使用している場合は位置情報 (GPS) の取得ができないため、速度や移動距離は“-”と表示されます。
- 速度、移動距離は本機またはスマートフォンの GPS 機能を使用して測定しているため、位置の検出誤差により実際の値と差が出る場合があります。
- 速度や距離は一定時間ごとに算出しているため、表示されている数値はある程度の時間遅れを伴っている場合があります。
- 本機が位置情報 (GPS) を取得できない場合、速度や移動距離は“-”と表示されます。

## MOMENT SETTER アプリを使う

MOMENT SETTER アプリを使うと、例えば次のような通知を受け取ることができます。

- アクティビティアプリでトレッキングの計測中、ゴールとして設定した標高 **2000 m** まであと **200 m** になったらバイブレーションで通知し、残り高度を表示する。
- 毎日、日の出時刻の **1 時間前** になったらバイブレーションで通知し、画面に日の出の時刻を表示する。



操作は、受け取りたい通知をメニューから選ぶだけです。

上記の例でわかるように、MOMENT SETTER による通知には、アクティビティアプリによるトレッキングやフィッシングなどアクティビティの計測中に受け取れるものと、アクティビティの計測とは無関係に受け取れるものがあります。

## MOMENT SETTER アプリのメインメニュー

MOMENT SETTER アプリを起動すると、メインメニューが表示されます。

メインメニュー含まれる項目は、下表のとおりです。


項目名	タップすると表示されるメニュー
最近使用した	最近使用した 3 件分の通知のメニューが表示されます。「最近使用した」は、1 件以上の MOMENT SETTER 通知を使用すると、現れます。
登山・トレッキング※1、 フィッシング※1、サイクリング※1、パドル※1※2、 スノー※1※2	それぞれ、アクティビティの種類（「 <a href="#">アクティビティアプリを使う</a> 」を参照）と対応した通知のメニューが表示されます。各メニュー内の通知は、項目名と同じ種類のアクティビティを計測中の間だけ、受け取ることができます。
その他	アクティビティの種類に属さない通知のメニューが表示されます。このメニュー内の通知は、アクティビティアプリを使った計測中でなくても受け取ることができます。
一般設定	設定メニューが表示されます。「 <a href="#">アウトドア機能の共通設定について</a> 」を参照してください。




※1 これらの項目をタップしたときに表示されるメニューは、アクティビティアプリからの操作で MOMENT SETTER を呼び出したときに表示されるメニューと同じです。

※2 WSD-F20 シリーズのみ

### MOMENT SETTER の操作例

「登山・トレッキング」の通知を設定する操作例を紹介します。操作は MOMENT SETTER アプリ、またはアクティビティアプリから開始できます。

1. MOMENT SETTER アプリを起動し、メインメニューを上下にスクロールして「登山・トレッキング」をタップする。  
または、アクティビティアプリの「Trekking」の「START」画面で  をタップする。

2. 表示される通知のメニューを左右にスクロールして、受けたい通知(例として「移動距離 1km ごとに、現在の高度を表示」)を表示する。
  - この時点では、通知の画面下部に表示されているチェックマークがグレーになっています。これは、この通知が OFF (通知を受け取れない状態) になっていることを表します。
  - 初期設定を変更する場合は次の手順 3 に進んでください。初期設定のままよい場合は、手順 5 に進んでください。
  - 通知のメニューからひとつ前の画面 (MOMENT SETTER アプリのメインメニューまたはアクティビティアプリの「START」画面) に戻りたい場合は、APP ボタンを押します。
3. タッチスクリーンを上端から下にスワイプし、条件設定画面を表示する。
4. 「距離」をタップし、選択肢のひとつ(例えば「3km」)をタップする。
  - 変更が確定し、通知のメニューに戻ります。この時点で通知が ON になり、画面下部のチェックマークが  に変わります (このため、手順 5 の操作は不要です)。
5. 画面下部の  をタップして  に切り替える。
6. 電源ボタンを押して、MOMENT SETTER アプリを終了する。
  - 以上の操作を行った後で実際に通知を受け取るためには、アクティビティアプリを起動して、トレッキングの計測を開始することが必要です。「[アクティビティアプリを使う](#)」を参照してください。

## 参考

- **MOMENT SETTER** からの通知は、一定時間が経過すると自動的に消去されます。
- 速度、移動距離、現在地の検出は本機またはスマートフォンの **GPS** 機能を使用して測定しているため、位置の検出誤差により実際の値と差が出る場合があります。特に渓谷やビル街、建物内など、受信状態の悪くなる場所では、精度が悪くなります。
- **MOMENT SETTER** のすべての通知を一括して **OFF** にすることができます。「[アウトドア機能の共通設定について](#)」をお読みの上、「[すべて OFF に](#)」の操作を行ってください。


## タイムピースアプリを使う

モノクロ液晶で時刻を表示する以外の、本機は一切の機能を終了する「タイムピースモード」に入るためのアプリです。充電残量の低下を極力抑えたいが時刻だけは表示させたい、という場合にご利用ください。

### ✔ 重要

- タイムピースモードでは、アプリ、位置情報、Wi-Fi の利用、スマートフォンとの連携（通知を受けるなど）は一切できなくなります。
- タイムピースモードでは、本機の日付時刻に関する各種設定（タイムゾーンの自動切り替えや、サマータイムの反映を含むスマートフォンとの日付時刻同期設定など）を行うことができません。時刻合わせのため、少なくとも数日に 1 回程度はタイムピースモードを終了して、本機とスマートフォンを接続状態にしてください。なお、WSD-F20 シリーズをご使用の場合は、本機をスマートフォンと接続せずに **GPS 時刻補正** を実行して、時刻合わせすることも可能です。

## タイムピースモードの操作

これをするには	この操作を行う
本機をタイムピースモードに切り替える	<ol style="list-style-type: none"><li>1. タイムピースアプリを起動する（「<b>アプリを起動する</b>」を参照）。<ul style="list-style-type: none"><li>• 「タイムピース確認」画面が表示される。</li></ul></li><li>2. タッチスクリーンを右から左にスワイプして、順次表示される説明を読む。</li><li>3. タッチスクリーンを左から右にスワイプし、「タイムピース確認」画面に戻る。</li><li>4.  をタップする。<ul style="list-style-type: none"><li>• Wear OS by Google の動作が停止してタイムピースモードに入り、モノクロ液晶の時計画面が表示される。</li></ul></li></ol>
タイムピースモード中にバックライトを点灯させる	電源ボタンを短く押す。バックライトが約 2 秒間点灯する。
タイムピースモードを終了し通常の機能に復帰する	電源ボタンを約 2 秒間長押しする。Wear OS by Google が起動し、通常の機能に戻る。



## アウトドア機能の共通設定について

カシオ製アプリとカシオ製ウォッチフェイスは、コンパスや高度計などのアウトドア機能を共有しています。ここではカシオ製のアプリやウォッチフェイスで共通の設定について説明します。

### 共通設定の基本操作


共通設定の変更は、設定メニューを使って行います。どの画面から操作を開始するかによって設定メニューの表示のしかたが異なりますが、表示後の操作は同じです。設定を変更するには、次の操作を行います。

#### 1. 設定メニューを表示する。

カシオ製ウォッチフェイスから：

1. タッチスクリーンを約2秒間長押しする。設定メニューが表示される。


ツールアプリ、アクティビティアプリから：

1. タッチスクリーンを右から左に何度かスワイプする。
2. 「設定」画面が現れたら、 をタップする。設定メニューが表示される。

MOMENT SETTER アプリから：

1. タッチスクリーンを下端から上にスワイプする。
2. 「一般設定」をタップする。設定メニューが表示される。

ロケーションメモリアプリから (WSD-F20 シリーズのみ)：

1. 地図の表示中にタッチスクリーンを下端から上にスワイプする。
2. 表示されるメニューで「 設定」をタップする。設定メニューが表示される。

#### 2. 設定メニューを上下にスクロールして、変更したい設定項目をタップする。

- タップするだけで設定が切り替わる項目や、タップすると表示される別画面で設定を行う項目など、動作は設定項目によって異なります。項目ごとの操作と解説は、「[設定項目一覧](#)」を参照してください。

## 設定項目一覧

以下は、設定メニュー（「[共通設定の基本操作](#)」を参照）に表示される設定項目の一覧です。設定メニューを表示してから、設定を変更したい項目の操作を実行してください。

### 参考

- 各設定項目の右端の文字は、その項目をどの画面から表示することができるかを表しています。例えば「WF」は、ウォッチフェイス（WF）画面から表示可能な項目です。

WF:	ウォッチフェイス	MS:	MOMENT SETTER アプリ
TL:	ツールアプリ	LM:	ロケーションメモリーアプリ※1
AC:	アクティビティアプリ	TP:	タイムピースアプリ

※1 WSD-F20 シリーズのみ

## コンパス磁化補正 (WF)

### 操作

この設定項目をタップすると、コンパスの磁化補正を促すメッセージとアニメーションが表示されるので、アニメーションを参考に本機をいろいろな向きに動かす。磁化補正が完了するとメッセージが表示され、補正を始める前の画面（ウォッチフェイス）に戻る。

### 解説

コンパスが正しい方位を指すように補正します。

この設定項目がグレイアウト表示になっている（タップしても反応しない）場合は、コンパスの精度が十分高いため、磁化補正が不要な状態です。

## コンパスの磁気偏角を補正 (WF/TL)

### 操作

この設定項目をタップするたびに、「ON」と「OFF」の間で切り替わる。「ON」にするとコンパスが指す北方位は真北になり、「OFF」にすると磁北になる。

### 解説

磁北と真北のずれを補正します。

## 高度補正 (WF/TL/AC)

### 操作

1. 「高度をロケーションで補正」が「ON」の場合は「OFF」にする。
2. 「高度補正」をタップする。
3. 高度の入力画面が表示されるので、現在地の標高を入力する。
  - 数値を変更したい桁をタップし、▲ / ▼ を使って数値を増減する。
  - 手動で入力した高度の補正値をリセットするには、⊖ をタップする。

### ✔ 重要

- ⊖ をタップして補正値をリセットすると、本機が表示する高度は国際標準大気 (ISA) の定義に基づく簡易計算値となるため、実際の高度との誤差が大きくなります。リセット後は、現在地の標高を入力しなおすことをおすすめします。
- 「高度をロケーションで補正」を「ON」に切り替えると、手動で入力した高度補正の値は無効になります。

### 解説

手動で現在地の正確な標高を入力することで、本機が表示する高度と実際の標高の誤差を小さくします。現在地の標高は、標識、地図、インターネットなどを使って調べることができます。登山の途中では、こまめに標高の標識などと本機が示す高度を照らし合わせて、この操作を行うことをおすすめします。

## 高度をロケーションで補正 (WF/TL/AC)

### 操作

この設定項目をタップするたびに、「ON」と「OFF」の間で切り替わる。

### 解説

本機またはスマートフォンの位置情報 (GPS) に基づいて自動的に高度補正を行いたい場合には、本項目を「ON」にします。「高度補正」を使って手動で高度補正を行う場合は、本項目を「OFF」にすることが必要です。

### ✔ 重要

- WSD-F10 と iPhone を接続して使用している場合、この設定項目は利用できません。
- 本項目を「ON」にしたときの補正機能は、GPS の受信状態が極めて良好なときだけ動作し、渓谷やビル街など受信状態の悪くなる場所では動作しません。また、GPS 情報が原理的に誤差を含んでいるため、実際の標高とは誤差が生じます。より高い精度で高度を表示したい場合は、本項目を「OFF」にした上で、現在地の正確な標高を手動で入力する「高度補正」の操作をこまめに行うことをおすすめします。

## 高度 MAX リセット (WF)

### 操作

この設定項目をタップするとすぐに、最高高度がリセットされる。

### 解説

ウォッチフェイス (高度、コンビ) に表示される最高高度をリセットします。リセット後の数値は 0 m ではなく、過去 24 時間の最高高度となります。

## 気圧補正 (WF/TL/AC)

### 操作

この設定項目をタップすると気圧の入力画面が表示されるので、正確な気圧計で計測した現在の気圧を入力する。

- 数値を変更したい桁をタップし、▲ / ▼ を使って数値を増減する。
- 手動補正をリセットし、圧力センサーの計測値に基づく気圧表示に戻すには、⊕ をタップする。

### 解説

本機が内蔵している圧力センサーは工場出荷時に調整されているため、通常は補正する必要はありませんが、計測値に大きなずれが発生した場合には手動での補正が可能です。手動で補正するには、正確な気圧計で計測した現在の気圧を、本項目を使って入力します。

## 中央の数値／活動グラフ(TL)

### 操作

この設定項目をタップすると表示される一覧を上下にスクロールして、活動グラフ画面の中央に表示したい数値の種類をタップする。

### 解説

ツールアプリの活動グラフ画面の中央に表示する数値の種類を切り替えます。

## ホームタウン(WF)

### 操作

この設定項目をタップすると表示される一覧を上下にスクロールして、ホームタウンとして指定したい都市名をタップする。

### 解説

ウォッチフェイス(世界時計、トラベラー)に表示されるホームタウンを指定します。

## 文字板のカラー(WF)

### 操作

この設定項目をタップすると表示される選択肢から、使用したいカラーをタップする。

### 解説

ウォッチフェイス(オーセンティック、フィールド、マルチ、トラベラー、ロケーション)の文字板のカラーを変更します。

## モノクロ表示(WF/TP)

### 操作

この設定項目をタップするたびに、文字板の背景が「ダーク」と「ブライト」の間で切り替わる。

### 解説

本機のモノクロ液晶による表示のしかたを切り替えます。この設定は、次のすべてに共通して適用されます。

- ウォッチフェイス「2レイヤー」のモノクロ表示
- ツールアプリのモノクロ表示
- タイムピースモード時のモノクロ表示

## GPS 時刻補正 (WSD-F20 シリーズのみ) (WF)

### 操作

1. 屋外の空の開けた場所まで移動する。
2. カシオ製ウォッチフェイスからの操作で設定メニューを表示し、「GPS 時刻補正」をタップする。
3. 表示されるメッセージを確認した上で、「補正」をタップする。
4. GPS 受信が完了するまでしばらく待つ。

### 解説

本機は通常、スマートフォンとの同期によって時刻合わせを行います。スマートフォンの電池切れや紛失等で、長期間スマートフォンとの同期ができないときは、時刻を合わせたいそのつど、上記の操作を実行してください。実行するたびに、GPS 情報による一時的な時刻合わせが行われます。

GPS 受信状態の良好な、空の開けた場所での実行をおすすめします (「[受信に適した場所と適していない場所](#)」を参照)。

## 港を設定 (TL)

### 操作

この設定項目をタップすると表示される一覧を上下にスクロールして、指定したいポイント名 (港の名前や海に近い都市名) をタップする。

### 解説

ツールアプリの「[タイドグラフ](#)」による潮汐情報の表示対象となるポイント (港) を指定します。

## 現在地で再計算 (TL)

### 操作

この設定項目をタップすると、現在地の位置情報の取得が開始される。位置情報の取得に成功するとツールの画面に戻り、ツール画面には再計算後のデータが表示される。

### 解説

ツールアプリの画面に「**DEMO**」と表示されているとき、または「000 分前の位置情報を元に計算した結果を表示しています。」というメッセージが表示されているときは、この操作を行います。現在地の位置情報を本機またはスマートフォンの GPS 機能で取得し、その情報に基づいて、ツールアプリ画面に表示するデータが再計算されます。

## 毎日の位置情報を保存 (WSD-F20 シリーズのみ) (WF/MS/LM)

### 操作

この設定項目をタップして、「6分ごと」、「1分ごと」、「OFF」のいずれかを選択する。

### ✔ 重要

- 「OFF」から「ON」に切り替えるには、この設定項目をタップすると表示される確認ダイアログで「6分ごと」または「1分ごと」をタップすることが必要です。

### 解説

ロケーションメモリアプリに関連した設定項目です。

本項目の設定を「ON」にすると、アクティビティアプリで計測を実施していないときでも、日常的な位置の履歴を残しておくことができるようになります。

### ✔ 重要

- 位置情報の履歴は、内蔵ストレージの空き容量がなくなると、古いものから順に自動的に削除されます。あらかじめご了承ください。

## 毎日の活動記録を保存 (WF/TL/MS)

### 操作

この設定項目をタップするたびに、「ON」と「OFF」(初期設定)の間で切り替わる。

### ✔ 重要

- 「OFF」から「ON」に切り替えるには、この設定項目をタップすると表示される確認ダイアログで「承認」をタップすることが必要です。

### 解説

ウォッチフェイス(オーセンティック、フィールド、マルチ)、ツールアプリ(活動グラフ)、MOMENT SETTER アプリに関連した設定項目です。

本項目の設定を「ON」にすることで、運動時間や消費カロリーを表示など、ユーザーの活動記録を前提とした各種機能が利用可能となります。こうした機能を使いたい場合は、必ず「ON」に切り替えてください。

## 身長(TL/MS)

### 操作

この設定項目をタップすると表示される画面を使って、身長を入力する。

- 数値を変更したい桁をタップし、▲/▼を使って数値を増減する。

### 解説

本項目に入力した数値は、ツールアプリの「活動グラフ」に表示するデータを計算するための基礎情報として使われます。

## 体重(TL/MS)

### 操作

この設定項目をタップすると表示される画面を使って、体重を入力する。

- 数値を変更したい桁をタップし、▲/▼を使って数値を増減する。

### 解説

本項目に入力した数値は、ツールアプリの「活動グラフ」に表示するデータを計算するための基礎情報として使われます。

## 時計を装着する腕(TL/MS)

### 操作

この設定項目をタップするたびに、「右腕」と「左腕」の間で切り替わる。

### 解説

本項目に入力した数値は、ツールアプリの「活動グラフ」に表示するデータを計算するための基礎情報として使われます。

## ゴール標高(AC)

### 操作

この設定項目をタップすると表示される画面で、目標高度を入力する。

- 数値を変更したい桁をタップし、▲/▼を使って数値を増減する。

### 解説

アクティビティアプリを使ってトレッキングの計測を開始する前に、本項目を使って目標高度を入力します。



## ルートの色 (AC)

### 操作


アクティビティアプリからの操作で設定メニューを表示し、「ルートの色」をタップする。「ルートの色」の凡例が表示される。

### 解説

アクティビティアプリの地図画面に現れる移動ルートは複数の色で描かれます。この項目は、各色が何を意味するかの説明を表示するもので、特に何かの設定を行うものではありません。

## オート記録 (WSD-F20 シリーズのみ) (AC)

### 操作

1. アクティビティアプリでスノーの「BEGIN」画面を表示し、「BEGIN」をタップする。
2. タッチスクリーンを右から左に何度かスワイプし、「設定」画面が現れたら  をタップする。
3. 表示される設定メニューを上下にスワイプし、「オート記録」をタップする。
  - タップするたびに、「ON」と「OFF」の間で切り替わる。

### 重要

- 「オート記録」の設定は、上記 1、2 の操作で表示される設定メニューからのみ、変更可能です。

### 解説

アクティビティアプリの「スノー」に関連した設定です。本項目の設定が「ON」の場合、本機はユーザーの動作を検出して自動的にアクティビティの計測を開始します。「OFF」の場合は、ユーザーが手動で計測を開始することが必要です。初期設定は「OFF」です。

## 地図の種類(AC/MS/LM)

### 操作

この設定項目をタップするたびに、「Google マップ」と「Mapbox」の間で切り替わる。

### 解説

アクティビティアプリとロケーションメモリアプリで表示される地図の種類を、Google マップ または Mapbox のいずれかから選択します。

### ✔ 重要

- 「Mapbox」選択時に表示される地図には、OpenStreetMap の地理情報データが利用されています。OpenStreetMap の地理情報データは誰でも自由に編集することができるため、地図上に表示される情報が実際とは異なる場合があります。

## 地図のスキン(AC/MS/LM)

### 操作

この設定項目をタップすると表示される画面で、使用したい地図のスキンの名前をタップする。

### 解説

アクティビティアプリとロケーションメモリアプリで表示される地図のスキンを切り替えます。場所や目的に応じて、地形図や衛星画像などの選択肢から選ぶことができます。

## 地図のダウンロード (AC/MS/LM)

### 操作

1. 「地図の種類」を「Mapbox」に切り替える。
2. 「地図のダウンロード」をタップする。
  - 地図のスキン名一覧が表示される。
3. 一覧を上下にスクロールして、スキン名のひとつをタップする。
  - 現在地を中心とした地図画面が表示される。
4. 地図をスクロールして、ダウンロードする地図の中心にしたい位置を画面の中央に表示させる。
5. TOOL ボタン(+)と APP ボタン(-)を使って地図を拡大/縮小し、ダウンロードしたい範囲の地図を画面に表示する
6. 「地図を決定」をタップする。
  - このとき、Wi-Fi の利用を促すメッセージが表示されることがある(下記「重要」を参照)。
  - 地図のダウンロードが開始され、進行状況が表示される。ダウンロードをキャンセルするにはxをタップする。
  - ダウンロードが完了すると、ダウンロードされた地図が表示される。

### ▼重要

- 地図のダウンロード中は、ダウンロードをキャンセルする場合を除き、本機を操作せずにダウンロードが完了するまでお待ちください。操作すると、ダウンロードが中断されることがあります。
- 地図データは容量が大きいので、Wi-Fi のご利用をおすすめします。
- ダウンロードした地図を表示する際は、拡大できる段階に制限があります。手順 5 で指定する地図の範囲を狭くするほど、拡大したときの地図の表示内容はより詳細になります。手順 5 では、地図の範囲を必要最小限にとどめておくことをおすすめします。
- 手順 6 で「地図を決定」をタップすると、Wi-Fi の利用を促すメッセージが表示されることがあります。Wi-Fi 通信環境のある場所では「Wi-Fi 利用」をタップして、通信手段を Wi-Fi に切り替えることをおすすめします。
- 本機が一度に保持できる Mapbox の地図データ(地図の範囲とスキンの種類)は 1 つだけです。地図のダウンロードを実行するたびに、前回ダウンロードした地図データは新しいデータに置き換わります。同じ範囲の地図であっても、スキンの種類を変更したい場合は、再度ダウンロードを実行してください。

## 解説

本項目はアクティビティアプリとロケーションメモリアプリに関連した設定項目です。「地図の種類」として「Mapbox」が選択されている場合に、本機のメモリーに地図をダウンロードしておくための機能です。ネットワーク通信ができない場所に行って地図を利用したい場合は、本項目を使って、事前にネットワーク通信が可能な場所で地図のダウンロードを行ってから、現地へ向かってください。

## ダウンロード済地図 (AC/MS/LM)

### 操作

この設定項目をタップすると、ダウンロードした地図が表示される。

### 解説

「地図のダウンロード」の操作で本機に保存した地図の範囲やスキンを確認できます。

## トラッキング(アクティビティ) (AC/LM)

### 操作

この設定項目をタップするたびに、「精度優先」と「バッテリー優先」の間で切り替わる。

### 解説

アクティビティアプリに関連した設定項目です。「精度優先」を選ぶと GPS 測位の頻度が高くなり、地図上に移動ルートを表示する際の精度が上がります。「バッテリー優先」を選ぶと移動ルートの表示精度がやや劣る代わりに、バッテリー消費を節約できます。

トレッキングやフィッシングの計測を長時間実施したいような場合を除いては、速度や距離の計算がより正確に行われる「精度優先」をご利用ください。

## ✔ 重要

- アクティビティアプリでサイクリング、パドル※1、スノー※1 を計測する場合、本設定が「バッテリー優先」であっても比較的短い間隔で GPS 測位が実行されるため、節約できるバッテリー消費量は限定的です。あらかじめご了承ください。

※1 WSD-F20 シリーズのみ

## すべて OFF に (MS)

### 操作

1. この設定項目をタップすると、MOMENT SETTER のすべての通知を OFF にしてよいか確認するダイアログが表示される。
2. すべて OFF にするには「OFF にする」をタップし、そのままにするには「キャンセル」をタップする。

### 解説

MOMENT SETTER アプリのメニューに付けたチェックマークを一括して外し、すべての通知を OFF にする機能です。この操作を行うと、操作前の状態に一括して戻すことはできません。(MOMENT SETTER アプリのメニューから、個別に設定し直すことが必要となります。)

## ルート表示 (WSD-F20 シリーズのみ) (LM)

本項目については、「[移動ルートが地図上に表示されるように設定する \(ルート表示\)](#)」を参照してください。

## また来たい (WSD-F20 シリーズのみ) (LM)

本項目については、「[「また来たい」マークの通知設定を変更する](#)」を参照してください。

## モノクロ表示について

本機はカラー液晶とモノクロ液晶の二層構造を備えています。どのようなときにモノクロ液晶で表示されるかについて、まとめて解説します。

### 時刻のモノクロ表示

時刻のモノクロ表示には、次の2タイプがあります。



①(ラインあり)



②(ラインなし)

次のようなときに、本機は時刻のモノクロ表示を行います。

#### タイムピースモードに切り替えたとき

①の表示になります。「[タイムピースアプリを使う](#)」を参照してください。

#### 電池残量不足で Wear OS by Google の動作が停止したとき

①の表示になります(電池残量がなくなるまで)。この状態では一切の操作ができなくなり、通知も行われません。ただちに本機の充電を行ってください。充電量が一定レベルになると、自動的に Wear OS by Google が起動します。

#### 電池残量が5%を切ったとき、または半休止モードになったとき

②の表示になります。タッチスクリーンをタップすると、カラー表示に切り替わります。半休止モードについては下記ウェブサイトを参照してください。

<https://support.google.com/wearos/>

#### [2 レイヤー] ウォッチフェイスを選択したとき

本機を操作していないときに②の表示になります。タッチスクリーンをタップすると、カラー表示に切り替わります。

## 「常に画面を ON」をオフにしたとき

本機を操作していないときに②の表示になります。タッチスクリーンをタップすると、カラー表示に切り替わります。

「常に画面を ON」は Wear OS by Google の設定項目のひとつです。詳しくは下記ウェブサイトを参照してください。

<https://support.google.com/wearos/>

## ツールアプリのモノクロ表示

ツールアプリのカラー表示中に TOOL ボタンを約 3 秒間長押しすると、簡易なモノクロ表示に切り替わります。

- モノクロ表示中にタッチスクリーンをタップすると、カラー表示に切り替わります。
- ツールアプリについて詳しくは、「[ツールアプリを使う](#)」を参照してください。

## 困ったときには

---

本機の操作で困ったときには、ここでの説明をお読みください。  
それでも解決しない場合は、下記のウェブサイトを参照してください。  
<http://support.casio.com/wsd/>

### 本機が操作できなくなったら

本機が正常に操作できなくなった場合は、本機を再起動してから、再度操作をお試しください。再起動の操作については、下記ウェブサイトを参照してください。

<https://support.google.com/wearos/>

### 上記の操作ができなかった場合は

次の操作で本機を強制終了してください(強制終了後、本機は自動的に再起動します)。

1. **本機の画面が白い表示になるまで、電源ボタンを押し続ける。**
  - 本機が自動的に起動するまで、しばらくお待ちください。



## エラーコード/エラーメッセージ一覧

コード メッセージ	対処
<b>1001、1009</b> 正常に充電できません。このメッセージが繰り返し出る場合はサービスにお問い合わせください。	本機から充電ケーブルを取り外し、電源を切ってから、再度充電を行ってください。充電する際は、必ず本機に付属の AC アダプターと充電ケーブルを使ってください。 同じメッセージ/エラーコードが何度も表示される場合は、充電池の劣化や故障が考えられます。修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
<b>1003</b> 温度低下のため、充電できません。	本機の周辺温度が 10℃～35℃の環境下で充電してください。
<b>1004、1007</b> 温度上昇のため、充電できません。	
<b>1021</b> 一部センサーに問題があり、正しい計測ができません。このメッセージが頻繁に見られる場合は故障の可能性があります。サービスにお問い合わせください。	本機に内蔵されている圧力センサー、加速度センサー、ジャイロセンサー、磁気センサーのいずれかに障害があることが考えられます。同じメッセージ/エラーコードが何度も表示される場合は、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
<b>9000</b> 本体に異常が見つかりました。電源をオフします。	再起動するには、1 時間以上充電した上で、画面が白くなるまで電源ボタンを押し続けてください。
<b>9001、9002、9003</b> 本体に異常が見つかりました。電源をオフします。	修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
<b>9010</b> 本体温度上昇・保護のため、電源をオフします。	本機を腕から外し、直射日光の当たらない涼しい場所 (10℃～30℃くらいの環境下) にしばらく放置してください。本機の温度が十分に下がったら、電源を入れることができます。

# ご注意

---

本機をお使いになる上での、各種の注意事項です。

## 使用上のご注意

### 表示情報の精度について

#### タイドグラフの注意

日本の海域では、海上保安庁水路部発行、書誌 742 号日本沿岸潮汐調和定数表(平成 4 年 2 月発刊)、および気象庁・潮位表掲載地点一覧表(2015 年)から得られる調和定数データを使用して、干満の時刻や潮位の変化を予測計算しています。それ以外の海域では、NOAA, NOAA CO-OPS, or the NOAA Tides & Currents website および、U. S. DEPARTMENT OF COMMERCE / COAST AND GEODETIC SURVEY January 1942 TH-1 から得られる調和定数データを使用して干満の時刻や潮位の変化を予測計算しています。

実際の潮汐現象は天候や季節などさまざまな条件に左右され、計算どおりに規則正しく起こらないこともあり、場合によっては、実際の潮汐とずれてしまうことがあります。このような事情がある為、本アプリおよび時計のタイドグラフ機能は、あくまでも参考程度にしてください。危険を左右する潮汐の判断材料には決して使用しないでください。また、航海には必ず海上保安庁発行の潮汐表を使用してください。

#### 日の出日の入りに関する注意

日の出、日の入り計算は、方位角を北:0 度、東:90 度、南:180 度、西:270 度で行っています。計算結果は数秒ほどの誤差を含み、高緯度ほど誤差が大きくなります。平坦な地平線を想定しており、固有地形は考慮していません。

#### 月齢に関する注意

本機は次の計算に基づいて、月齢を表示しています。

- (1) 関数計算した太陽と月の座標を使って、「離角」を計算する。
  - (2) 「離角」と「平均的な月齢」の相関関係から、月齢を計算する。
- 月齢周期の平均は 29.53 日ですが、実際には  $\pm 1$  日程度の変動があるため、 $\pm 1$  日程度の誤差が生じることがあります。

## 防水性

本機は5気圧防水の性能を備えており、着用したまま水仕事や水泳をすることが可能です。ただし、次のことにご注意ください。

- 以下のことは避けてください。
  - ウィンドサーフィン、スキンドайビング(素潜り)、スキューバダイビングでの使用
  - 「水中で」および「本機に水分がついた状態で」ボタンを操作すること
  - 「水中で」および「本機に水分がついた状態で」本機を充電すること
  - 入浴のときに使用すること
  - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
  - 本機を手につけたまま手洗い、洗顔、家事などをするとき、石鹸や洗剤を使うこと
- 水中で使用した場合、タッチスクリーンは動作しません。
- 海水、淡水にかかわらず水中で使用したり、砂や泥がついたりしたときは、次の要領で本機を真水で洗ってから、十分に乾かしてください。
  1. バケツなどに水道水などの真水を入れる。
  2. その中に本機を入れ、10分程度さらす。
  3. 塩分、ゴミ、泥、砂などがよく落ちるように本機を軽くゆすりながら洗う。
    - タッチスクリーンが汚れた状態のとき、そのまま洗わずにこすることはおやめください。
    - 水洗い後は清潔で乾燥した柔らかい布で本機の水気を拭き取り、風通しの良い日陰にしばらく放置して、本機を完全に乾燥させてください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。
- 防水性能に問題が生じるため、電池交換の際には必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 本機が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りがなくなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れたりした場合など、外気と本機内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなる場合があります。なお、曇りが消えなかったり、本機内部に水が残っていたりする場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 本機や充電ケーブルが濡れた状態で、充電しないでください。濡れている場合は水分をよく拭き取り、十分に乾いてから充電してください。

## GPS 機能の利用について (WSD-F20 シリーズのみ)

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の GPS 衛星から送信される電波を利用して、地球上の位置を計測するシステム (全地球測位システム) のことです。この GPS 機能を使うと、GPS 衛星から電波を受信して、現在の位置と時刻を計算することができます。現在の位置を計算することを、「測位」といいます。

### 受信に適した場所と適していない場所

- GPS 電波の受信に適しているのは、ビルや樹木など視界を遮るものがなく、上空がよく見える屋外です。
- 以下の場所では、GPS 電波を受信しにくくなります。
  - 上空の見える範囲が狭い場所
  - 樹木やビルの近く
  - 駅や空港など混雑した場所、交通量が多く電波障害がある場所
  - 電車の架線、高圧電線やテレビ塔の近く
- 以下の場所では、GPS 電波を受信できません。
  - 上空が見えない場所
  - 地下、トンネル内、水中
  - 屋内 (窓の近くでは受信できることがあります)
  - 無線通信機器など電磁波を発する機器の近く
- GPS 衛星は常に移動しているため、お使いになる場所や時刻などによっては測位に時間がかかったり、測位できない場合があります。


### 海外での利用について

国や地域によっては、GPS の使用や位置情報ログを収集することなどが規制されている場合があります。本機には GPS 機能が内蔵されておりますので、本機を海外 (本機を購入した国以外の国や地域) で利用したい場合は、移動先の国や地域に GPS 機能付き製品の持ち込みや、位置情報ログの収集に対する禁止、制限、その他規則などがないか、事前に大使館や旅行代理店などにご確認ください。

### 長期間本機を使用していなかった場合について

長い間充電しないまま本機を使用していなかった場合、本機の使用を再開した直後は、GPS 電波を受信して測位するのに長い時間がかかる場合があります。

## GPS 機能に関するご注意

- 電波の受信を禁止または制限されている場所では、下記の操作で本機の「位置情報」を「OFF」に切り替えてください。
  1. ウォッチフェイスの表示中にタッチスクリーンを上端から下にスワイプし、 をタップする。
  2. 下にスクロールして「接続」、「位置情報」の順にタップする。
  3. 表示される画面で「位置情報」をオフにする。
- 地図データには、不正確な情報が含まれる場合があります。またすべての国や地域には対応しておりません。
- 国や地域の法律や制度により、地名や住所名が正しく表示されない場合があります。
- 本機の GPS を使用した位置情報は参考であり、その場所に行くことができない場合や困難な場合があります。また地図情報には山岳地、ジャングル、砂漠など危険な場所や、治安が悪い場所が存在しますので、現地の規制や最新の治安情報、安全性を事前に十分ご確認ください。
- 1.5GHz 帯の電波を利用した携帯電話などを本機の近くで使うと、うまく GPS 衛星の電波を受信できなくなる場合があります。
- GPS 衛星による測位は、電波の状況により数百メートルの誤差を生じる場合があります。
- 飛行機など非常に高速な乗り物での移動時は、位置情報を取得できません。
- 測量目的などの高精度な計測には使用できません。
- 船舶や航空機、車両、人などの航法目的には使用できません。
- 本機が測位に使用する GPS 衛星、GLONASS 衛星、または QZSS 衛星は、それぞれ米国、ロシア、日本が運営管理しています。このため各国政府の都合等により、いつでも変更されたり、使えなくなる可能性があります。

## Wi-Fi 接続について

本機を Wi-Fi に接続して使用する場合は、本機の電池残量や使用環境にご注意ください。電池残量が少なかったり、極端に気温の低い場所で使用したりすると、システム保護のため Wi-Fi の動作が自動的に停止する場合があります。

## MIL-STD-810G

米国防総省が制定した MIL-STD-810G の下記項目に準拠しております。

- 日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、過度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますので、ご注意ください。
- 正しくお使いいただくために、「**使用上のご注意**」、「**お手入れについて**」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、発熱、発火、感電、傷害、故障の恐れがあります。
- 本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損、無故障を保証するものではありません。

落下	Method 516.7 Procedure IV に準拠した試験を実施。
振動	Method 514.7 Procedure I に準拠した試験を実施。
湿度	Method 507.6 Procedure II に準拠した試験を実施。
太陽光照射	Method 505.6 Procedure II に準拠した試験を実施。
低圧保管	Method 500.6 Procedure I に準拠した試験を実施。
低圧動作	Method 500.6 Procedure II に準拠した試験を実施。
高温保管	Method 501.6 Procedure I に準拠した試験を実施。
低温保管	Method 502.6 Procedure I に準拠した試験を実施。
温度衝撃	Method 503.6 Procedure I -C に準拠した試験を実施。
氷結	Method 521.4 Procedure I に準拠した試験を実施。

## 保護シールについて

- 本機の本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールや紙タグが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがしてください。シールや紙タグをはがさずにご使用になると、「本機の本体やバンド」と「シールや紙タグ」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

## 充電

- 充電中は本機および AC アダプターが若干温かくなることがありますが、故障ではありません。
- 電池残量が十分なきは、なるべく充電しないでください。電池残量が少なくなってから充電することで、本機の充電電池を長持ちさせることができます。次のような充電のしかたは、充電電池の劣化を早める原因となりますので、避けてください。
  - 満充電の状態、または満充電に近い状態で、頻繁に充電する
  - 満充電の状態で充電し続けたり、充電したまま長期間放置したりする
  - 電池残量が十分なのに、1日の間に何度も、本機への充電ケーブルの着脱を繰り返す
- 湿気やほこり、細かな金属異物の多い場所、振動が頻発する場所、固定電話、テレビ、ラジオなどの近くでは、充電しないでください。
- 本機の充電ケーブルは磁気を帯びているため、鉄分を含んだ砂が付着するなどして充電できなくなる場合があります。泥や砂で充電端子やケーブルが汚れた場合、端子とケーブルの砂を十分に取り除いてから充電してください。
- 極端な低温または高温の場所では、充電ができなかったり、100%までの満充電ができなかったりすることがあります。本機の周辺温度が 10℃～35℃の環境下で充電してください。

## バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化などにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、本機の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、使用をやめてください。点検、修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

## 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。故障の原因となります。
- + 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+ 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。高温によって動作停止した場合は、本機の温度が十分に下がるまでは動作しませんので、しばらくお待ちください。

## 磁気

- 磁気のある場所では、一部機能が正常に動作しない場合があります。また、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

## 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケースや樹脂バンドに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

## 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。
- 充電しないときは充電ケーブルを AC アダプターから抜き、AC アダプターをコンセントから外して保管してください。また、充電ケーブルは磁気を帯びていますので、磁気カード、精密機器、アナログ時計に近づけないようにして保管してください。



## 樹脂部品

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光(紫外線)に当てたり、汚れが付着したまま放置したりすると、色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況(過度の外力、連続したこすれ、衝撃等)により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

## センサー

- 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などで突いたり、ゴミ、ほこりなどが入ったりしないようにご注意ください。なお本機を海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

## 金属部品

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、本機本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

## 液晶表示

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。
- 本機で使用している液晶表示は円形ではなく、円の下側が平らになった形状です。円形のウォッチフェイス等、一部が表示されないデザインもありますが、故障ではありません。
- 本機の液晶パネルは高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

## お手入れについて

### お手入れのしかた

本機は衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ、汗、水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、本機本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。

## お手入を怠ると

### さび

- 本機で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、本機の性能が劣化することがあります。

### 劣化

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

### かぶれ

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に樹脂バンドは、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

## 充電式電池の取り扱いについて(電池リサイクルのお願い)



### Li-ion 00

本機が内蔵しているリチウムイオン電池は、貴重な資源です。本機を廃棄する際は、資源リサイクルのため、正しい手順に従ってください。

本機を廃棄する際の手順に関しては、下記のウェブサイトを参照してください。

<http://support.casio.com/wsd/ja/discard/>

#### ✔ 重要

- 本機の電池はご自分で交換できません。電池を交換したい場合は、「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 個人情報の保護に関するご注意

本機を譲渡または廃棄する際は、お客様の個人情報を保護するため、事前に必ずスマートフォンとのペア設定を解除してください。操作については、下記のウェブサイトを参照してください。

<http://support.casio.com/wsd/>

## 無線に関するご注意

- 本機は電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備を内蔵しています。
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しています。このため同じ周波数帯を使用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
  - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
  - 鉄筋コンクリート（マンションなど）や鉄骨構造の建物内
  - 大型金属製家具の近く
  - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
  - 本機とスマートフォンが別々の部屋にある場合（障害物がある場合）
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることには使用しないでください。

### 以下、ARIB（一般社団法人電波産業会）に準ずる

- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は FH-SS、その他の方式を採用し、想定される与干渉距離は約 10m です。



- 本機は 2.4GHz 帯を使用し、変調方式は DS-SS、OFDM 方式を採用し、想定される与干渉距離は約 40m です。



- 本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業、科学、医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、「機能・操作・購入先に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## バンドの駒詰めについて (WSD-F20SC のみ)

バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。

お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「修理に関するお問合せ先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。

# 主な仕様

---

## 全機種共通仕様

- 1.32 インチ 2 層構造ディスプレイ、カラー TFT 液晶 (320×300 ピクセル) +モノクロ液晶
- 静電容量式タッチパネル
- マイクロフォン
- バイプレーター
- バッテリー:  
形式: リチウムイオン電池  
充電時間:  
常温で約 2 時間 (必ず専用の充電ケーブルと AC アダプターを使用すること)
- Bluetooth: Bluetooth® 4.1 (Low Energy 対応)
- Wi-Fi (無線 LAN): IEEE802.11b/g/n
- メモリー: 4GB 内蔵メモリー、512MB RAM
- 充電方式: マグネット圧着式充電端子
- ボタン: TOOL ボタン、電源ボタン、APP ボタン
- 5 気圧防水※1
- 耐環境性能: MIL-STD-810G (米国防総省が制定した米軍の物資調達規格) 準拠

●時計:

自動時刻修正:

スマートフォンとの通信による(手動による時刻修正可能)

GPS 情報による(手動操作での一時的補正)

タイムゾーン(世界時計対応機能):

全世界の複数のタイムゾーンに対応(種類はシステムのタイムゾーンに依存)

12 時間/24 時間切替

自動年月日設定(フルオートカレンダー):

スマートフォンとの連携により自動切替

サマータイム対応:

スマートフォンとの連携により自動切替

ウォッチフェイス種類:

お気に入り 3 種類、後から追加可能

●ツール App:

コンパス(方位計測):

計測範囲: 0 度~359 度

計測単位: 1 度

方位連続計測: 1 分間

北方位指針、磁気偏角補正、ベアリングメモリー、傾斜補正

高度計:

計測範囲: -700~10,000m

計測単位: 1m 単位

計測精度: ±75m 以内(頻繁に補正をした場合)

高度計測間隔: 1 分

高度変化グラフ: 過去 24 時間分

マニュアル高度補正、位置情報による自動高度補正 ※2

気圧計:

計測範囲: 260~1,100hPa

計測単位: 1hPa 単位

計測精度: ±3hPa 以内

気圧変化グラフ: 過去 24 時間分

気圧計測間隔: 1 分

マニュアル気圧補正



### 潮汐とフィッシング:

タイドグラフ: 過去 12 時間 + 未来 12 時間分

フィッシングタイム (現在地と月の時角、月齢を元に計算)

### 日の出日の入り:

日の出・日の入りの時刻 (現在地の日の出日の入り)

日の出・日の入りの方位: 方位精度はコンパスに準じる

### 活動グラフ \*4:

1 日の行動パターン: 静止 / 歩く / 走る / 乗り物

消費カロリー、歩数、高度 (その日の獲得標高)、運動時間

- 画面の明るさの設定: 5 段階
- 時計のバッテリー残量表示: 0~100% 整数値
- 充電器 (AC アダプター):  
INPUT: AC 100V ~ 240V 50Hz/60Hz  
OUTPUT: 5.0V
- 充電ケーブル:  
長さ: 約 0.75m  
形状: AC アダプター側 USB Type A
- 付属品: 充電器 (AC アダプター)、専用充電ケーブル、クロスバンド/バンド  
交換工具 (WSD-F20X のみ)

● MIL-STD-810G (米国防総省が制定した米軍の物資調達規格):

説明:

- 1: 落下
- 2: 振動
- 3: 湿度
- 4: 太陽光照射
- 5: 低圧保管
- 6: 低圧動作
- 7: 高温保管
- 8: 低温保管
- 9: 温度衝撃
- 10: 氷結

対応項目: MIL-STD-810G, w/change1

- 1: Method 516.7 Procedure IV
- 2: Method 514.7 Procedure I
- 3: Method 507.6 Procedure II
- 4: Method 505.6 Procedure II
- 5: Method 500.6 Procedure I
- 6: Method 500.6 Procedure II
- 7: Method 501.6 Procedure I
- 8: Method 502.6 Procedure I
- 9: Method 503.6 Procedure I -C
- 10: Method 521.4 Procedure I

諸注意:

本端末の有する性能は試験環境下での確認であり、実際の使用時すべての環境での動作を保証するものではありません。また、無破損、無故障を保証するものではありません。

● 動作環境<sup>※5</sup>

Wear OS by Google は、Android 4.4 以上 (Go エディションを除く) または iOS 10 以上<sup>※6</sup> が稼働しているスマートフォンで動作します。利用できる機能は、プラットフォームや国によって異なります。

互換性を確認するには、ご使用の Android スマートフォンまたは iPhone で [g.co/wearcheck](http://g.co/wearcheck) にアクセスしてください。

## 機種別仕様

	WSD-F10	WSD-F20 シリーズ
センサー	圧力センサー、加速度センサー、ジャイロセンサー、磁気センサー	GPS、圧力センサー、加速度センサー、ジャイロセンサー、磁気センサー
フル充電からの使用時間*1	通常使用時: 約 1 日以上 タイムピースモード使用時: 約 1 か月	
動作温度範囲	0℃～40℃	-10℃～40℃
風防	無機ガラス	<b>WSD-F20/WSD-F20X/WSD-F20A:</b> 無機ガラス (防汚コーティング) <b>WSD-F20S/WSD-F20SC:</b> サファイアガラス (防汚コーティング)
アクティビティ App	登山・トレッキング、フィッシング、サイクリング*7	登山・トレッキング、フィッシング、サイクリング、パドル、スノー
MOMENT SETTER App	登山・トレッキング、フィッシング、サイクリングに対応した通知	登山・トレッキング、フィッシング、サイクリング、パドル、スノーに対応した通知
ロケーションメモリー App	—	地図表示、ルート表示、地図のスキップ選択、地図のダウンロード (オフラインマップ)、音声メモ機能、地点マーク機能、また来たい機能*3、過去の履歴表示機能
本体サイズ (ボディ部分の縦×横×厚さ)	約 61.7×56.4×15.7mm	<b>WSD-F20/WSD-F20X/WSD-F20A:</b> 約 61.7×57.7×15.3mm <b>WSD-F20S/WSD-F20SC:</b> 約 61.7×57.7×15.1mm
質量 (バンド含む)	約 93g	<b>WSD-F20:</b> 約 92g <b>WSD-F20S:</b> 約 105g <b>WSD-F20X:</b> 約 94g (ソフトウレタンバンド装着時)、約 90g (クロスバンド装着時) <b>WSD-F20A:</b> 約 90g <b>WSD-F20SC:</b> 約 124g

- ※1 当社の試験環境による
- ※2 GPS の高度情報を利用しているため実際の海拔高度や標高とは一致しません。
- ※3 機能の利用には、CASIO MOMENT SETTER+アプリのインストールされた Android スマートフォンと本機が通信可能な状態であることが必要です。iOS には未対応です。
- ※4 デフォルトは、OFF
- ※5 Android 4.3 以上のスマートフォンまたは iOS 9 以上の iPhone と WSD-F10/F20/F20S/F20X をペア設定してご使用のお客様は、そのままご使用いただけます。ただし、Android 4.4 以上 (Go エディションを除く) のスマートフォンまたは iOS 10 以上の iPhone とペア設定してのご使用をおすすめします。
- ※6 iOS 利用時は、一部機能が制限されます。
- ※7 Android スマートフォンとの接続時のみ

### オープンソース情報


当社は GPL、LGPL、その他オープンソースライセンスの適用対象となるソースコードを本製品に利用しています。当社は各オープンソースライセンスの定めに従い、ソースコードを開示しています。ソースコードおよび各オープンソースライセンスの内容については、当社ウェブサイトにてご確認ください。ソースコードは現状有姿のまま提供されるものとし、いかなる保証もいたしません。ただし、本製品の不具合(ソースコードに含まれる不具合も含みます)に関する当社による保証条件には影響しません。

### 商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi は Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Google、Android、Wear OS by Google、Google Play、およびその他のマークやロゴは Google LLC の商標です。
- iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- App Store は、Apple Inc.のサービスマークです。
- その他この取扱説明書に記載されている会社名、製品名またはサービス名は各社の商標または登録商標です。

## 規制情報について

本機は電子的表示の対応装置です。規制情報を表示するには、下記の操作を行ってください。

1. ウォッチフェイスの表示中にタッチスクリーンを上端から下にスワイプし、をタップする。
2. 下にスクロールして「システム」、「端末情報」、「規制情報」の順にタップする。

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本機は米国再輸出規制 (EAR) の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。

周波数帯域および周波数帯域で送信する最大無線周波数出力

- WSD-F10  
IEEE802.11b/g/n:2.4GHz band  $\leq 19\text{dBm}$   
Bluetooth(2.4GHz)  $\leq 1\text{dBm}$
- WSD-F20 シリーズ  
IEEE802.11b/g/n:2.4GHz band  $\leq 19\text{dBm}$   
Bluetooth(2.4GHz)  $\leq 10.5\text{dBm}$

**CASIO®**

カシオ計算機株式会社

〒 151-8543  
東京都渋谷区本町 1-6-2

S04\_MA2312-J